

平成 24 年度

事業報告書

平成 25 年

I. 庶務事項

1. 理事会及び評議員会の開催

・平成 24 年 5 月 16 日(水)午後 4 時 30 分より第 85 回理事会を東京急行電鉄株式会社 本社にて開催、下記の議案を審議可決した。

(イ)平成 23 年度事業報告並びに収支決算について

(ロ)定時評議員会の招集について

(ハ)諮問委員の選任について

・平成 24 年 5 月 31 日(木)午前 11 時より第 83 回評議員会を渋谷エクセルホテル東急にて開催、下記の議案を審議可決した。

(イ)評議員会長の選出について

(ロ)平成 23 年度事業報告並びに収支決算について

・平成 25 年度事業計画並びに収支予算案に関する下記の議案を、予め平成 25 年 3 月 3 日に監事の意見を付して配布し、理事全員の同意を得たので、最終確認が得られた同年 3 月 14 日付にて、第 86 回理事会として同案を可決した。

(イ)平成 25 年度事業計画並びに収支予算案審議について

(ロ)平成 25 年度事業計画並びに収支予算案審議の評議員会開催について

・平成 25 年 3 月 22 日(金)午前 11 時より第 87 回理事会を、理事全員出席、監事 1 名欠席にて、五島美術館本館にて開催、代表理事並びに業務執行理事による、理事会報告を行い、それぞれ承認された。

・平成 25 年度事業計画並びに収支予算案について、予め平成 25 年 3 月 14 日に配布し、評議員全員の同意を得たので、最終確認が得られた同年 3 月 22 日付にて、第 84 回評議員会として同案を可決した。

2. 官公庁への届出等

・平成 24 年 4 月 18 日 移行登記完了届(公益移行認定)……………内閣府

4月19日	移行登記完了届(公益移行認定)	文部科学省
4月19日	博物館登録事項等の変更届(公益移行による名称変更)	東京都
5月7日	国と密接な関係がある公益法人への該当性について	総務省
12月26日	博物館登録事項等の変更届(改修等による面積変更)	東京都
平成25年3月27日	平成25年度事業計画書並びに収支予算書の提出	内閣府

3. 寄付受領

・東京急行電鉄株式会社	437,000,000 円
(内 特別寄付	250,000,000 円)
・東急バス株式会社	30,000,000 円
・イツ・コム株式会社	20,000,000 円
	合計 487,000,000 円

4. 補助金受領

・東陽徳輝墨蹟・継色紙・蓬萊切修理補助金	
(文化庁)	2,440,000 円
(東京都)	1,098,000 円
	合計 3,538,000 円
	(未収金計上)

Ⅱ. 主なる事業活動

[1] 五島美術館事業

1. 展示事業

回 覧覧会名	期間	開館日数
1 新装開館記念名品展 「時代の美－五島美術館・大東急記念文庫の精華」 第一部 奈良・平安編	平成 24 年 10 月 20 日(土)～11 月 18 日(日)	26 日
2 新装開館記念名品展 「時代の美－五島美術館・大東急記念文庫の精華」 第二部 鎌倉・室町編	11 月 23 日(祝・金)～12 月 24 日(振休・月)	28 日
3 新装開館記念名品展 「時代の美－五島美術館・大東急記念文庫の精華」 第三部 桃山・江戸編	平成 25 年 1 月 5 日(土)～2 月 17 日(日)	38 日
4 新装開館記念名品展 「時代の美－五島美術館・大東急記念文庫の精華」 第四部 中国・朝鮮編	2 月 23 日(土)～3 月 31 日(日)	32 日
		合計 124 日

2. 出版物

(1)『五島美術館の 50 年』

- ・判型＝A4 判 ・発行日＝平成 24 年 10 月 17 日 ・編集＝五島美術館・大東急記念文庫学芸部
- ・発行＝五島美術館 ・頁数＝128 頁(カラー16 頁、図版 38 点所収)

(2)『時代の美－五島美術館・大東急記念文庫の精華 第一部 奈良・平安編』

- (新装開館記念名品展「時代の美－五島美術館・大東急記念文庫の精華 第一部 奈良・平安編」図録)
- ・判型＝A4 判 ・発行日＝平成 24 年 10 月 20 日 ・編集＝五島美術館・大東急記念文庫学芸部
- ・発行＝公益財団法人五島美術館 ・頁数＝64 頁(カラー64 頁、全出品作品を含む図版 118 点所収)

(3)『時代の美－五島美術館・大東急記念文庫の精華 第二部 鎌倉・室町編』

- (新装開館記念名品展「時代の美－五島美術館・大東急記念文庫の精華 第二部 鎌倉・室町編」図録)
- ・判型＝A4 判 ・発行日＝平成 24 年 11 月 22 日 ・編集＝五島美術館・大東急記念文庫学芸部
- ・発行＝公益財団法人五島美術館 ・頁数＝64 頁(カラー64 頁、全出品作品を含む図版 95 点所収)

(4)『時代の美－五島美術館・大東急記念文庫の精華 第三部 桃山・江戸編』

- (新装開館記念名品展「時代の美－五島美術館・大東急記念文庫の精華第三部 桃山・江戸編」図録)
- ・判型＝A4 判 ・発行日＝平成 25 年 1 月 4 日 ・編集＝五島美術館・大東急記念文庫学芸部
- ・発行＝公益財団法人五島美術館 ・頁数＝64 頁(カラー64 頁、全出品作品を含む図版 94 点所収)

(5)『時代の美－五島美術館・大東急記念文庫の精華 第四部 中国・朝鮮編』

(新装開館記念名品展「時代の美－五島美術館・大東急記念文庫の精華 第四部 中国・朝鮮編」図録)

- ・判型＝A4 判 ・発行日＝平成 25 年 2 月 22 日 ・編集＝五島美術館・大東急記念文庫学芸部
- ・発行＝五島美術館 ・頁数＝64 頁(カラー64 頁、全出品作品を含む図版 96 点所収)。

(6)『五島美術館研究紀要』

- ・判型＝A4 判 ・発行日＝平成 25 年 3 月 31 日 ・編集＝五島美術館・大東急記念文庫学芸部
- ・発行＝五島美術館

3. 美術品の他所への出品

- ・神戸市立博物館 …… 重要文化財「紺紙金字阿弥陀経 平忠盛筆 久安五年写」／他計 3 件
「NHK 大河ドラマ 50 年 特別展 平清盛」(期間＝平成 24 年 2 月 25 日～4 月 8 日)
- ・財団法人阪急文化財団逸翁美術館 …… 「太田切 伝 藤原公任筆」／他計 2 件
「茶会記をひもとく 逸翁と茶会」(期間＝平成 24 年 4 月 7 日～6 月 10 日)
- ・奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 …… 「同向式系神獣鏡」／他計 10 件
「三国志の時代—2・3 世紀の東アジア—」(期間＝平成 24 年 4 月 21 日～6 月 17 日)
- ・山口県立萩美術館・浦上記念館 …… 「青磁筍形生花」／他計 2 件
「龍泉窯青磁展」(期間＝平成 24 年 6 月 23 日～8 月 26 日)
- ・茶道資料館 …… 重要美術品「井戸茶碗 銘 美濃」／他計 2 件
「茶会記にみる茶道具—姫路藩主酒井宗雅の茶と交遊」(期間＝平成 24 年 9 月 29 日～12 月 2 日)
- ・徳川美術館 …… 「井戸茶碗 銘 九重」／計 1 件
「新館 25 周年記念・徳川園開園 80 周年記念秋季茶会 徳川茶会」(期間＝平成 24 年 10 月 7 日～11 月 3 日)
- ・和泉市久保惣記念美術館 …… 重要文化財「佐竹本三十六歌仙絵巻断簡 清原元輔像」／他計 3 件
「美の宴—東洋の古美術、印象派と古地図が織り成す珠玉の世界—」(期間＝平成 24 年 10 月 14 日～12 月 2 日)
- ・東京国立博物館 …… 「心太平本黄庭経 王羲之筆」／他計 16 件
「書聖 王羲之」(期間＝平成 25 年 1 月 22 日～3 月 3 日)
- ・土岐市埋蔵文化センター …… 「黒織部茶碗 銘 わらや」／計 1 件
「織部—ソノ器、ヘウゲモノ也—」(期間＝平成 25 年 2 月 28 日～5 月 12 日)
- ・野村美術館 …… 「青磁桃型香合」／他計 3 件
「茶人のあそび心 形物香合番付の世界」(期間＝平成 25 年 3 月 2 日～4 月 14 日)

4. 入館者数

※単位は人

	有料	無料	計	入園者	合計	開館日	一日平均
1 新装開館記念名品展「時代の美―五島美術館・大東急記念文庫の精華」第一部 奈良・平安編 〈平成 24 年 10 月 20 日(土)～11 月 18 日(日)〉	9,886	1,620	11,506	0	11,506	26	443
2 新装開館記念名品展「時代の美―五島美術館・大東急記念文庫の精華」第二部 鎌倉・室町編 〈11 月 23 日(祝・金)～12 月 24 日(振休・月)〉	8,973	658	9,631	0	9,631	28	344
3 新装開館記念名品展「時代の美―五島美術館・大東急記念文庫の精華」第三部 桃山・江戸編 〈平成 25 年 1 月 5 日(土)～2 月 17 日(日)〉	8,504	1,119	9,623	0	9,623	38	253
4 新装開館記念名品展「時代の美―五島美術館・大東急記念文庫の精華」第四部 中国・朝鮮編 〈2 月 23 日(土)～3 月 31 日(日)〉	5,309	1,374	6,683	0	6,683	32	209
合計	32,672	4,771	37,443	0	37,443	124	302

5. 調査・研究

- ・所蔵する美術品(複製品・道具類を含む約五千件)および寄託品の調査を継続した。調査成果については順次紀要にて発表する予定である。
- ・所蔵する図書を整理し、情報の入力を開始した。また宇野雪村旧蔵書籍など貴重書のメンテナンスを行った。

6. 講堂・茶室などの施設利用

(1) 本館集会室

ギャラリートーク(平成 24 年 12 月 11 日)、各種団体などへの解説、美術品写真撮影、博物館学講習会、館内諸会議などに使用(利用詳細は別項「8.普及事業(1)(4)」「9.博物館実習生の受け入れ」)。

(2) 別館講堂

ギャラリートーク(平成 24 年 11 月 6 日他)、当館主催「講演会」(平成 24 年 10 月 27 日、11 月 24 日、平成 25 年 2 月 3 日)、当館主催「茶の友会茶会」の道具説明会(平成 24 年 11 月 29 日～12 月 2 日、平成 25 年 3 月 14 日～17 日)、東急電鉄株式会社主催「キッズプログラム」(平成 25 年 1 月 13 日)、当館主催「美の友会月例美術講座」(毎月 1～3 回)、美術史学会東支部大会(平成 24 年 12 月 16 日)などに使用(利用詳細は別項「8.普及事業(1)(2)(3)(5)(6)」)。

(3) 第二講堂

当館主催「茶の友会茶会」の点心席(平成 25 年 3 月 14 日～17 日)などに使用(利用詳細は別項「8.普及事業(5)」)。

(4) 茶室

当館主催「茶の友会茶会」(平成 25 年 3 月 14 日～17 日)などに使用(利用詳細は別項「8.普及事業(5)」)。

7. 友の会(特別会員制度)

美術教育普及のため、開館以来友の会制度を設け、今日に至っている。本年度の利用状況は次のとおり(平成 25 年 3 月 31 日現在)。

(1) 美の友会(定員制度無し・入会した日より 1 年間有効)

- ・会員数=645 名
- ・年会費=4,000 円(2012 年 10 月改定)
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「美の友会月例美術講座」の開催(聴講無料)。
- ・陶芸講座の開催(年 3 回の予定・ただし平成 24 年度は庭園工事中のため実施せず)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。

(2) 茶の友会(定員制度・毎年度 4 月 1 日から 3 月 31 日まで有効・ただし平成 22 年度入会者は平成 25 年 3 月 31 日まで有効・平成 25 年 4 月に欠員数のみ新規募集)

- ・会員数=1,500 名
- ・会 費=4,000 円(平成 22 年 4 月～平成 25 年 3 月分) ※平成 25 年度より年会費として 5,000 円に改定
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「茶の友会茶会」の開催(年 2 回・ただし、1 回につき実費 10,000 円程度必要)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。

8. 普及事業

(1) ギャラリートーク(展示解説)ー入館者を対象にして実施

新装開館記念名品展「時代の美ー五島美術館・大東急記念文庫の精華」第一部 奈良・平安編

「源氏物語絵巻について」平成 24 年 11 月 6 日・13 日(別館講堂)……………参加者計 238 名

新装開館記念名品展「時代の美ー五島美術館・大東急記念文庫の精華」第二部 鎌倉・室町編

「紫式部日記絵巻について」平成 24 年 11 月 27 日(別館講堂)……………参加者計 72 名

「名品と表具裂」平成 24 年 12 月 6 日(別館講堂)……………参加者計 46 名

「コレクションで辿る中世」平成 24 年 12 月 11 日(本館講堂)……………参加者計 46 名

新装開館記念名品展「時代の美ー五島美術館・大東急記念文庫の精華」第三部 桃山・江戸編

「日本陶磁」平成 25 年 1 月 17 日(別館講堂)……………参加者計 39 名

「琳派の造形」平成 25 年 1 月 23 日(別館講堂)……………参加者計 60 名

「名家の筆跡」 平成 25 年 2 月 14 日(別館講堂)……………参加者計 83 名
新装開館記念名品展「時代的美—五島美術館・大東急記念文庫の精華」 第四部 中国・朝鮮編
「墨跡の表具裂」 平成 25 年 3 月 7 日(別館講堂)……………参加者計 38 名
「中国陶磁」 平成 25 年 3 月 27 日(別館講堂)……………参加者計 66 名

(2) 青少年向け普及講座

①東急電鉄株式会社主催「キッズプログラム」

平成 25 年 1 月 13 日「美術館の茶室で抹茶を飲んでみよう」(別館講堂・別館茶室)……………計 21 名

②小・中学校への出張講義

・世田谷区立給田小学校

平成 25 年 3 月 6 日 「日本絵画を知ろう」……………6 年生約 120 名

・世田谷区立東大原小学校

平成 25 年 3 月 7 日 「日本絵画を知ろう」……………5 年生約 50 名

「絵巻の世界」……………6 年生約 50 名

(3) 講演会—入館者を対象にして実施

新装開館記念名品展「時代的美—五島美術館・大東急記念文庫の精華」 第一部 奈良・平安編

・演題＝古筆の魅力—五島コレクションより 講師＝神崎充晴氏(センチュリーミュージアム館長)

平成 24 年 10 月 27 日(土)……………聴講者 106 名

新装開館記念名品展「時代的美—五島美術館・大東急記念文庫の精華」 第二部 鎌倉・室町編

・演題＝大東急記念文庫蔵『君台観左右帳記』について 講師＝岡崎久司氏(九州大学客員教授)

平成 24 年 11 月 24 日(土)……………聴講者 80 名

新装開館記念名品展「時代的美—五島美術館・大東急記念文庫の精華」 第三部 桃山・江戸編

・演題＝茶道史に輝く逸品—五島美術館茶道具コレクションの特質 講師＝竹内順一氏(永青文庫館長)

平成 25 年 2 月 3 日(土)……………聴講者 163 名

(4) 団体見学および団体説明会

新装開館記念名品展「時代的美—五島美術館・大東急記念文庫の精華」 第一部 奈良・平安編

……………計 7 団体・計 205 名

新装開館記念名品展「時代的美—五島美術館・大東急記念文庫の精華」 第二部 鎌倉・室町編

……………計 5 団体・計 161 名

新装開館記念名品展「時代的美—五島美術館・大東急記念文庫の精華」 第三部 桃山・江戸編

……………計 1 団体・計 20 名

総計＝13 団体・386 名

(5) 茶会—茶の友会会員を対象にして実施

・第1回秋季茶会＝平成24年11月29日、30日、12月1日、2日(4日間)・参加者計733名
庭園の茶室(古経楼・富士見亭)は耐震工事中のため、別館茶室を濃茶席、ロビーを立礼席として使用した。
*上記茶会に使用した美術品について学芸員が解説した。

・第2回春季茶会＝平成25年3月14日、15日、16日、17日(4日間)……………参加者計770名
庭園の茶室(古経楼・富士見亭)の耐震工事が終了したため、古経楼を濃茶席、富士見亭を薄茶席として使用した。
*上記茶会に使用した美術品について学芸員が解説した。

(6) 美の友会月例美術講座—美の友会会員を対象にして実施

美の友会会員を対象に下記の講座(各月2回)を開催した。各回とも一貫したテーマに即した主題を掲げ、五島美術館・大東急記念文庫の所蔵品を中心にパワーポイントを使用してわかりやすい講座を行なった。

・開館記念特別美術講座

再開館後の展覧会では、五島美術館と大東急記念文庫の所蔵品から古写経など奈良～平安時代の仏教美術や、和歌を書写した古筆など文学にゆかりの深い名品、唐～宋時代の陶磁などを中心に展示した。これにちなみ、コレクションを彩る書跡・工芸などの美術品をとりあげ、日本・東洋を地域・分野を横断し、解説した。

《担当 五島美術館・大東急記念文庫学芸部》

第1回	平成24年11月3日(土)	「古写経の書風」	名児耶明……………	聴講者74名
第2回	11月10日(土)	「源氏物語絵巻」	渡川直樹……………	70名
第3回	12月8日(土)	「紫式部日記絵巻」	渡川直樹……………	75名
第4回	12月15日(土)	「作品と表具裂」	佐藤留実……………	72名
第5回	平成25年1月12日(土)	「寛永の三筆」	名児耶明……………	85名
第6回	1月19日(土)	「琳派の造形」	福島修……………	72名
第7回	2月2日(土)	「日本の陶磁」	砂澤祐子……………	58名
第8回	2月23日(土)	「中国の陶磁」	砂澤祐子……………	75名
第9回	3月9日(土)	「本のさまざま1」	島野順子……………	53名
第10回	3月23日(土)	「本のさまざま2」	村木敬子……………	44名

(7) 美術品の写真掲載・利用

美術の教育普及の観点から、各種の美術図書やビデオ・テレビ番組などに、その内容に検討を加えた上で、当館所蔵の美術品の撮影および写真掲載使用を許可した(平成24年度は178件のべ248点)。

(8) 特別閲覧

- ・九州国立博物館特別閲覧(平成 24 年 6 月 20 日)……………3 名
- ・土岐市埋蔵文化財センター特別閲覧(平成 24 年 10 月 25 日)……………1 名
- ・目白漆芸文化財研究所特別閲覧(平成 24 年 12 月 18 日)……………2 名
- ・大手前大学教授特別閲覧(平成 25 年 2 月 1 日)……………2 名

9. 博物館実習生の受け入れ

下記の通り、博物館法施行規則第 1 条で定める学芸員資格取得のための学生の博物館実習を当館の基準の下に受け入れ、その指導を行った(実習生 1 大学 1 名)。

- ・期間＝平成 24 年 11 月 21 日(水)～12 月 5 日(水)(12 日間)

実習生＝日本女子大学 家政学部 被服学科 科目等履修生……………1 名

10. 美術品の保存・補修

- (1) 蔵品のうちから、特に傷みの著しかった「重要文化財 東陽徳輝墨跡」、「重要文化財 継色紙」および「重要文化財 蓬莱切」については、修理先・修理方法に慎重な検討を加えた上で、本体の修理を行った(このうち「重要文化財 蓬莱切」は 23 年度中に終了)。平成 24 年度は、本修理に 4,438,100 円費やされたが、国から 2,440,000 円、東京都から 1,098,000 円の補助を受けた。

11. その他の協力事業および会議等への派遣

- (1) 美術資料収集評価委員会へ学芸員を派遣(文化庁 2 回、九州国立博物館 1 回)。
- (2) 美術資料買取協議会へ派遣(九州国立博物館 2 回)。
- (3) 第 59 回日本伝統工芸展(会期:平成 24 年 9 月 19 日<水>～10 月 1 日<月>)奨励賞に協賛。
- (4) 世田谷区のセント・メリーズ・インターナショナル・スクール学園祭に協賛。
- (5) 財団法人せたがや文化財団理事会への参加(2 回)。
- (6) 米国・Smithsonian Freer Gallery of Art and Arthur M. Sackler Gallery の依頼により、学芸員を調査に派遣(平成 24 年 8 月 5 日～9 日)。
- (7) 東京国立博物館の依頼により、学芸員を調査に派遣(平成 24 年 4 月 16 日ほか計 4 回)。

- (8) 毎日新聞社の依頼により、学芸員を東京国立博物館特別展「書聖 王羲之」記念講演会に講師として派遣(平成 25 年 2 月 10 日)。
- (9) 円覚寺の依頼により「宝物風入れ」の展示・撤去に学芸員を派遣(平成 24 年 11 月 1 日、4 日)。
- (10) 東京学芸大学の依頼により、学芸員を博物館学および同実習の非常勤講師として派遣。
- (11) 東京藝術大学の依頼により、学芸員を博物館実習および集中講義の講師として派遣。
- (12) 多摩美術大学の依頼により、学芸員を染織史講義の講師として派遣。
- (13) 財団法人大師会の役員会への参加(計 4 回)。
- (14) 日本博物館協会の依頼により、学芸員を「博物館研究」編集委員会に派遣(平成 24 年 9 月 10 日ほか計 2 回)。
- (15) 日本博物館協会の依頼により、学芸員を「美術品取扱技術等にかかわる調査研究」の委員として派遣。
- (16) 科学研究費助成事業(基盤研究(B))「タイにおける異文化の受容と変容 ―13 世紀から 18 世紀の対外交易品を中心として―」(課題番号 24401020 研究代表者:原田あゆみ)に協力。
- (17) 公益財団法人徳川美術館ミュージアムの依頼により、文化財修復助成事業選定委員に学芸員を派遣。

12. 学会・研究会

- (1) 美術史学会東支部大会を別館講堂にて開催し、研究成果を発表(平成 24 年 12 月 16 日)。
- (2) 美術史学会、東洋陶磁学会、漆工史学会、茶の湯文化学会、全国博物館学会、全国美術館会議、全国博物館館長会議、私立美術館会議(以上大会出席)
- (3) 日本貿易陶磁研究会研究集会、茶の湯懇話会、茶書研究会、日本書道史研究会、日本博物館協会研究会、墨蹟研究会、画賛研究会、学芸員照明研究会、Asian Civilisations Museum(シンガポール)主催シンポジウム「Patterns of Trade」に参加

[2] 大東急記念文庫事業

1. 図書保存

- (1) 収蔵庫内の参考書誌、図書資料等と和古書との分離収納作業を行った。
- (2) 所蔵資料の保存状態を調査し、修理・補修リストに記載した。
- (3) 庫内に適度の防虫剤を施した。また防塵、除湿、防災には万全を期した。

2. 図書収集

- (1) 閲覧参考資料
「人物叢書」等を継続購入中である。
- (2) 出版文化史参考資料
本年度は購入しなかった。
- (3) 古典籍参考資料
本年度は購入しなかった。

3. 図書調査

国文学研究資料館・国立国会図書館・石水博物館等の資料調査を行った。

4. 図書閲覧

(1) 個人閲覧

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数		0	0	0	0	0	0	10	23	21	23	20	27	124 日
閲覧者数		1	0	0	4	2	4	5	7	5	0	4	3	35 人
国書 漢籍 仏書 その他	国書	1	0	0	14	1	12	9	69	2	0	3	2	113 点
	漢籍	0	0	0	1	0	1	3	2	0	0	0	0	7 点
	仏書	0	0	0	4	0	1	0	3	4	0	1	3	16 点
	その他	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	2	5 点
計		1	0	0	19	2	14	14	74	6	0	4	7	141 点

工事閉館中は善本叢刊関連の原本調査等を除き閲覧を休止したが、10 月 24 日の美術館の再開館に合わせて閲覧を再開した。

(2) 団体閲覧

- ・5 月 延慶本平家物語研究会(1 点／於閲覧室)5 名
- ・9 月 延慶本平家物語研究会(1 点／於閲覧室)6 名

5. 出版物の編集・刊行・頒布・委託出版(主なもの)

(1) 頒布

- ・機関誌「かがみ」第 43 号
- ・『典籍逍遙—大東急記念文庫の名品』
- ・公開講座講演録

(2) 委託販売

- ・大東急記念文庫善本叢刊中古・中世篇(汲古書院)継続刊行中。
平成 24 年度は、第 20 回配本「伊呂波字類抄1」、第 21 回配本「諸芸 I」、第 22 回配本「伊呂波字類抄2」を刊行。
- ・大東急記念文庫善本叢刊近世篇(全 18 巻別巻 1 巻)(汲古書院)
- ・大東急記念文庫所蔵『芥子園画伝』初集・二集・三集(勉誠出版)
- ・マイクロフィルム版「江戸文学総瞰」「物語文学総瞰」(雄松堂書店)

6. 普及

(1) 出版物受贈(主なもの)

- ・『敦煌秘笈』影片冊八・九 各 1 冊(杏雨書屋)
- ・『東京市史稿 産業篇』第五十三 1 冊(東京都公文書館)
- ・『漢文訓讀史の研究Ⅳ』 1 冊(小林芳規氏)

(2) 図書資料撮影、掲載、出版、翻印等許可

- ・各種団体
小原流、亀岡市文化資料館、南丹市八木町史編さん委員会、兵庫陶芸美術館、みやざき歴史文化館等
- ・出版社
NHK出版、和泉書院、岩波書店、科学書院、笠間書院、研文出版、小学館、思文閣出版、淡交社、平凡社、みやび出版、吉川弘文館、臨川書店等
- ・個人
研究者等7名

7. 展示

(1) 他所への貸出

- ・国文学研究資料館「都市を描く—京都と江戸—」展(期間=平成 24 年 3 月 28 日～5 月 6 日)
「熱鬧一趣」・「嵯峨本伊勢物語」……………計 2 点
- ・熊本県立美術館「生誕 450 年記念 加藤清正」展(期間=平成 24 年 7 月 20 日～9 月 2 日)
「加藤清正像」・「加藤清忠夫人像」……………計 2 点

・神奈川県立金沢文庫「解脱上人貞慶—鎌倉仏教の本流—」展(期間＝平成24年6月8日～7月29日)

重要文化財「金剛般若波羅蜜經(春日若宮影向図)」……………計1点

・大和文華館「清雅なる仏画—白描図像が生み出す美の世界—」展(期間＝平成24年10月7日～11月11日)

「曼荼羅集 玄証本」……………計1点

(2) 五島美術館への出陳

・新装開館記念名品展「時代的美—五島美術館・大東急記念文庫の精華」第一部 奈良・平安編
国宝「白描絵料紙理趣経(目無経)」・国宝「史記 孝景本紀第十一」ほか……………計16点

・新装開館記念名品展「時代的美—五島美術館・大東急記念文庫の精華」第二部 鎌倉・室町編
重要文化財「寒山図」・重要文化財「延慶本平家物語」ほか……………計28点

・新装開館記念名品展「時代的美—五島美術館・大東急記念文庫の精華」第三部 桃山・江戸編
重要文化財「去来抄」・「加藤清正像」・「豊臣秀吉消息 お弥宛」ほか……………計16点

・新装開館記念名品展「時代的美—五島美術館・大東急記念文庫の精華」第四部 中国・朝鮮編
国宝「六祖挾担図」・重要文化財「石林先生尚書伝」ほか……………計12点

8. 国等各種公共機関・団体への協力と職員の派遣

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館の調査員として、会議に出席、国文学関係資料の調査に協力した

貸借対照表
平成25年 3月31日現在

公益財団法人五島美術館（最新）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	276,055,126	67,136,131	208,918,995
現 金	1,795,652	633,185	1,162,467
普 通 預 金	30,499,603	44,867,248	△ 14,367,645
定 期 預 金	243,759,871	21,635,698	222,124,173
未 収 金	16,329,667	3,642,887	12,686,780
前 払 金	1,627,744	1,029,077	598,667
棚 卸 資 産	23,458,848	23,071,910	386,938
有 価 証 券	8,818,880	9,521,736	△ 702,856
立 替 金	16,191	0	16,191
仮 払 金	840,000	0	840,000
流動資産合計	327,146,456	104,401,741	222,744,715
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土 地	1,139,685,568	1,139,685,568	0
建 物	1,635,834,683	420,901,087	1,214,933,596
立 木	1,000,000	1,000,000	0
美 術 品	1,134,221,000	1,134,221,000	0
古 典 籍	131,705,570	131,705,570	0
什 器 備 品	499,647	822,381	△ 322,734
投 資 有 価 証 券	728,359,057	728,359,057	0
基本財産合計	4,771,305,525	3,556,694,663	1,214,610,862
(2) 特定資産			
積 立 預 金	41,000,000	230,656,500	△ 189,656,500
減 価 償 却 引 当 資 産	0	347,554,253	△ 347,554,253
建 設 仮 勘 定	0	566,259,041	△ 566,259,041
特定資産合計	41,000,000	1,144,469,794	△ 1,103,469,794
(3) その他固定資産			
美 術 品	194,479,000	205,454,000	△ 10,975,000
什 器 備 品	8,544,987	784,204	7,760,783
その他固定資産合計	203,023,987	206,238,204	△ 3,214,217
固定資産合計	5,015,329,512	4,907,402,661	107,926,851
資産合計	5,342,475,968	5,011,804,402	330,671,566
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	111,507,567	10,786,196	100,721,371
前 受 金	6,460,000	0	6,460,000
預 り 金	1,847,220	1,786,005	61,215
未 払 法 人 税 等	0	70,000	△ 70,000
流動負債合計	119,814,787	12,642,201	107,172,586
2. 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	12,069,586	12,465,730	△ 396,144
固定負債合計	12,069,586	12,465,730	△ 396,144
負債合計	131,884,373	25,107,931	106,776,442
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	4,083,446,821	3,589,186,225	494,260,596
（うち基本財産への充当額）	（ 4,042,446,821）	（ 2,827,513,225）	（ 1,214,933,596）
（うち特定資産への充当額）	（ 41,000,000）	（ 761,673,000）	（△ 720,673,000）
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	1,127,144,774	1,397,510,246	△ 270,365,472
（うち基本財産への充当額）	（ 728,858,704）	（ 729,181,438）	（△ 322,734）
（うち特定資産への充当額）	（ 0）	（ 382,796,794）	（△ 382,796,794）
正味財産合計	5,210,591,595	4,986,696,471	223,895,124
負債及び正味財産合計	5,342,475,968	5,011,804,402	330,671,566

財産目録

平成25年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金 額
(流動資産)	現金 預金	手元保管			1,795,652
		普通預金			30,499,603
		みずほ銀行上野毛支店			23,439,988
		みずほ銀行上野毛支店			1,242,339
		みずほ銀行上野毛支店			4,655,698
		三菱東京UFJ銀行玉川支店			1,161,578
		定期預金			243,759,871
		みずほ銀行上野毛支店			141,942,680
		三菱東京UFJ銀行玉川支店	以上、運転資金として		101,817,191
		未収金		還付消費税・補助金・補償金・売掛金残高	16,329,667
前払金 棚卸資産 有価証券 立替金 仮払金		次年度展覧会準備費用・保険料	1,627,744		
		図録・ショップ商品	23,458,848		
		基本財産運用に伴う不足資金分	8,818,880		
			16,191		
		誤支払費用	840,000		
流動資産合計					327,146,456
(固定資産) 基本財産	土地（指定） 土地 建物（指定） 建物 立木（指定） 立木 美術品（指定） 美術品 古典籍（指定） 古典籍 什器備品 什器備品 投資有価証券 投資有価証券 特定資産 積立預金（指定） 積立預金 その他固定資産 美術品 什器備品	世田谷区上野毛三丁目9-25			4,771,305,525
		19903.86平米	公的目的地事業及び管理運営の用に供している。		1,139,685,568
					1,139,685,568
					1,635,834,683
			本館・別館・茶室2棟・陶芸教室	公的目的地事業及び管理運営の用に供している。	1,635,834,683
				公的目的地事業の用に供している。	1,000,000
				公的目的地事業の用に供している。	1,000,000
			美術工芸品 2,615件	公的目的地事業の用に供している。	1,134,221,000
				公的目的地事業の用に供している。	1,134,221,000
			古典籍 21,835冊	公的目的地事業の用に供している。	131,705,570
				公的目的地事業の用に供している。	131,705,570
					499,647
			展示用備品・収蔵棚	公的目的地事業及び管理運営の用に供している。	499,647
			国債・地方債・社債・株式		728,359,057
				公益目的保有財産として運用益を事業の財源としている。	728,359,057
					41,000,000
					41,000,000
			定期預金		41,000,000
			みずほ銀行上野毛支店	公的目的地事業及び管理運営のための資産である。	41,000,000
					203,023,987
				公的目的地事業の用に供している。	194,479,000
				公的目的地事業及び管理運営の用に供している。	8,544,987
固定資産合計					5,015,329,512
資産合計					5,342,475,968
(流動負債)	未払金 前受金 預り金		竣工工事費用を含む、業者への支払	111,507,567	
			次年度茶の友会会費	6,460,000	
			社会保険料	1,847,220	
流動負債合計					119,814,787
(固定負債)	退職給付引当金		公的目的地事業及び管理運営に従事する職員の退職給付引当金	12,069,586	
				12,069,586	
固定負債合計					12,069,586
負債合計					131,884,373
正味財産					5,210,591,595

正味財産増減計算書

平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館（最新）

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[11,416,442]	[13,307,461]	[△ 1,891,019]
特定資産運用益	[37,135]	[82,360]	[△ 45,225]
公益事業収益	[105,143,752]	[20,372,165]	[84,771,587]
収益事業収益	[0]	[52,299,513]	[△ 52,299,513]
受取補助金等	[5,640,000]	[3,492,000]	[2,148,000]
受取寄付金	[233,943,726]	[151,799,514]	[82,144,212]
雑収	[10,148,180]	[1,278,348]	[8,869,832]
経常収益計	366,329,235	242,631,361	123,697,874
(2) 経常費用			
事業費	[341,504,117]	[175,364,635]	[166,139,482]
収益事業費	[0]	[46,848,434]	[△ 46,848,434]
管理費	[26,657,992]	[24,309,136]	[2,348,856]
経常費用計	368,162,109	246,522,205	121,639,904
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,832,874	△ 3,890,844	2,057,970
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,832,874	△ 3,890,844	2,057,970
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	[33,018,500]	[0]	[33,018,500]
固定資産受贈益	[304,000]	[30,001,000]	[△ 29,697,000]
物件移転補償金	[313,000]	[0]	[313,000]
退職給付引当金戻入額	[396,144]	[0]	[396,144]
受取寄付金振替	[60,859,678]	[0]	[60,859,678]
経常外収益計	94,891,322	30,001,000	64,890,322
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[61,669,920]	[0]	[61,669,920]
指定正味財産へ振替	[301,754,000]	[121,634,958]	[180,119,042]
経常外費用計	363,423,920	121,634,958	241,788,962
当期経常外増減額	△ 268,532,598	△ 91,633,958	△ 176,898,640
当期一般正味財産増減額	△ 270,365,472	△ 95,524,802	△ 174,840,670
一般正味財産期首残高	1,397,510,246	1,493,035,048	△ 95,524,802
一般正味財産期末残高	1,127,144,774	1,397,510,246	△ 270,365,472
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[291,000,000]	[450,000,000]	[△ 159,000,000]
固定資産受贈益	[0]	[34,243,612]	[△ 34,243,612]
一般正味財産からの振替額	[301,754,000]	[121,634,958]	[180,119,042]
一般正味財産への振替額	[△ 98,493,404]	[△ 20,799,514]	[△ 77,693,890]
当期指定正味財産増減額	494,260,596	585,079,056	△ 90,818,460
指定正味財産期首残高	3,589,186,225	3,004,107,169	585,079,056
指定正味財産期末残高	4,083,446,821	3,589,186,225	494,260,596
III 正味財産期末残高	5,210,591,595	4,986,696,471	223,895,124

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券等の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価は、移動平均法に基づく原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
建物、什器備品は定額法により減価償却を行っている。
ただし、平成22年3月31日以前に取得した建物、什器備品は公益法人会計基準(平成20年4月11日 改正平成21年10月16日)適用の前事業年度末の帳簿価額を取得原価とみなし、残存耐用年数(新規に取得した場合の耐用年数から経過年数を控除した年数)による定額法により減価償却を行っている。
- (4) 引当金の計上基準
従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等は、税込方式により会計処理を行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
土地	1,139,685,568			1,139,685,568
建物	420,901,087	1,326,437,187	111,503,591	1,635,834,683
立木	1,000,000			1,000,000
美術品	1,134,221,000			1,134,221,000
古典籍	131,705,570			131,705,570
什器備品	822,381	221,595	544,329	499,647
投資有価証券	728,359,057	104,120,247	104,120,247	728,359,057
小計	3,556,694,663	1,430,779,029	216,168,167	4,771,305,525
(特定資産)				
積立預金	230,656,500	601,676,500	791,333,000	41,000,000
減価償却引当資産	347,554,253	1,244,333,935	1,591,888,188	0
建設仮勘定	566,259,041	566,259,041	1,132,518,082	0
小計	1,144,469,794	2,412,269,476	3,515,739,270	41,000,000
合計	4,701,164,457	3,843,048,505	3,731,907,437	4,812,305,525

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
(基本財産)				
土地	1,139,685,568	1,139,685,568		
建物	1,635,834,683	1,635,834,683		
立木	1,000,000	1,000,000		
美術品	1,134,221,000	1,134,221,000		
古典籍	131,705,570	131,705,570		
什器備品	499,647		499,647	
投資有価証券	728,359,057		728,359,057	
小計	4,771,305,525	4,042,446,821	728,858,704	0
(特定資産)				
積立預金	41,000,000	41,000,000		
小計	41,000,000	41,000,000	0	0
合計	4,812,305,525	4,083,446,821	728,858,704	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,317,004,106	681,169,423	1,635,834,683
什器備品(基本財産)	37,233,327	36,733,680	499,647
什器備品(その他固定資産)	65,780,038	57,235,051	8,544,987
合計	2,354,237,433	717,903,103	1,636,334,330

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
有価証券	8,818,880	9,377,236	558,356
投資有価証券	728,359,057	941,608,685	213,249,628
合計	737,177,937	950,985,921	213,807,984

6. 引当金の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	12,465,730	0	0	396,144	12,069,586

注) 当期減少額は昨年度繰入過大額を修正したものである。

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
国宝重要文化財等 保存整理費補助金	文部科学省	2,408,000	2,440,000	2,408,000	2,440,000	流動資産
国宝重要文化財等 保存整理費補助金	東京都	1,084,000	3,200,000	3,186,000	1,098,000	流動資産
合計		3,492,000	5,640,000	5,594,000	3,538,000	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	37,633,726
経常外収益への振替額	
建物除却による指定解除	60,859,678
合計	98,493,404

9. その他

当期建物増加額1,313,427,000円のうち301,754,000円を一般正味財産から指定正味財産に振り替えた。

附属明細書

基本財産の明細、特定資産の明細及び引当金の明細については財務諸表の注記に記載しているため、附属明細書への記載を省略する。